

**平成25年度 第4回 生駒市環境審議会
エネルギービジョン策定部会 会議録**

1 開催日時 平成25年11月22日(金) 午前9時30分～午前11時

2 開催場所 生駒市コミュニティセンター 4階404会議室

3 審議事項

(1) 生駒市エネルギービジョン(案)について

(2) パブリックコメントについて

(3) その他

(以下、敬称略)

4 会議出席者

部会長 島田幸司

副部会長 遊津隆義

委員 楠下孝雄 田中武 小池真紀

囑託員 豊田陽介

事務局 奥谷長嗣 環境経済部長 堀孝弘 環境経済部次長

岡田敏幸 環境政策課長 川島健司 環境政策課長

阿部健一 環境政策課企画係長

説明者 エコリンクス株式会社 白岩 service channel 開発室長

5 傍聴者 なし

午前9時30分 開会

6 審議内容

(1) 開会

(2) 審議事項

以下、発言要旨。

部会長 案件1「生駒市エネルギービジョン(案)について」について審議を宣告。

事務局に説明を求める発言あり。

事務局 事務局から、資料「エネルギービジョン(案)」に基づき、前回からの変更点を中心に説明。

部会長 委員からの質問、意見を求める発言。

委員 エネルギービジョンの位置づけだが、環境基本計画を上位計画としており、環境基本計画の総合ビジョンと分野別ビジョンをキーワードとして本文に入れておいてほしい。また、参考資料として環境基本計画の13ページと14ページを入れてほしいとの発言。

部会長 LCPもそうだが、一步踏み込んだビジョンになっている。行政の計画としてはセキュリティや居住の継続性まで幅広く触れていることから、環境基本計画の傘下ではなく市の総合計画の傘下になるべきではないかという

個人的な思いがあるとの発言。

委員

18ページでは省エネルギーによる市域のエネルギー消費量削減割合を20%としているが、7ページを見ると産業部門は減少しているが運輸は大きく増減している。増減に関連している要因は分析したかとの発言。

部会長

増減要因に関し説明を加えるということだが、これは製造業の事業所数が減少しているためではないかとの発言。

囑託員

統計データだが、生産量の多い品目の品目別の額を積み上げてこれだけエネルギー消費をしていますと表すことが多く、売り上げによって大きく左右される。傾向としてはリーマンショックにより日本全体で製造業が停滞したと国でも言われている。民生部門が多くなっているのは、世帯数が多くなっていること、コンビニ・スーパーが増えたりした影響が大きい。ただ、産業が増えるからエネルギーが増えるということにしてしまうと、エネルギーを減らすためには経済を停滞させなくてはならないという話になってしまう。方針としては、産業を活性化させながらエネルギーを減らしていくというものにしないかとの発言。

部会長

運輸は車の登録台数から出しているのかとの質問。

事務局

ガソリンの消費量などから計算している。エネルギーの消費については電力は追って把握していくことができるが、自動車の市外からの流入までは市としてデータのとりようがないとの発言。

部会長

ガスは把握できているのかとの質問。

事務局

都市ガスは可能だが、プロパンガスは把握できていないとの発言。

部会長

過去3年間のエネルギー消費量は、おおよそ4000テラジュールで推移している。電力に関しては関西電力からデータを貰っているので正確であろう。産業部門については減少し、民生部門については増加していると簡単に触ればよいとの発言。

事務局

分かりましたとの発言。

副部会長

西暦か和暦か統一したほうが良いとの発言。

事務局

突合させていただくとの発言。

部会長

行政ではどちらが多いのかとの質問。

事務局

和暦が多い。併記するような方向でとの発言。

囑託員

16ページだが、ここまでは量的な導入可能性について記述しているがここは量としては書きづらい。並びとしては統一的なものにしてはどうかとの発言。

部会長

後半の施策に書いたほうが内容としてはフィットするが、後半の施策に重複した内容が出てくる。「①コージェネレーション」については第1段落を用語集に、第2段落を21ページにしてはどうかとの発言。

事務局

16ページがいらぬとの発言。

囑託員

個別の削減、個別対策としてはこれぐらいになるという記述をすればよい。導入できるか未検討なので、可能性について、こういうところで民間事業者向けのコージェネに導入可能性があるという書きぶりにしてはどうかとの発言。

委員

ホテルや24時間スーパーなど可能性があるとの発言。

**事務局
嘱託員
白岩氏
部会長**

生駒市ではホテルや24時間スーパーなどがほとんどないとの発言。
病院など熱を使う施設を掲げればどうかとの発言。
老健などもありますとの発言。

12ページ、「生駒市のポテンシャル」について表題を「生駒市のエネルギー利用可能量」に変えたほうがよい。後段の6からの整理で省エネルギーと創エネルギーと整理しているので、5の前段(1)には「省エネルギー・高度利用の可能性」として現在の(2)(3)の内容を、現在の(1)を(2)として「再生可能エネルギーの導入可能性」とすればどうか。最初の表もそれに沿って整理をしてほしい。総括表に建築が入っていないのでそれも入れるべき。コージェネレーションは省エネでいいのか。どちらの側面も持っている。タイトルも含めてそのような整理でとの発言。

**委員
委員**

了承との発言。

17ページで、リノベーションという言葉が改修という言葉に変えたのかとの質問。

部会長

用語の統一という意味でも、20ページも17ページと同じような表現にすべきとは思いますが、この改修という言葉にはリノベーションという意味を含んでいるのかとの質問。

事務局

この場合の改修はリフォームという意味で、リノベーションのように機能改善の意味までは入っていないとの発言。

委員

そうであればリノベーションのほうが良い言葉なので、そちらにして用語集に追加すればよいとの発言。

部会長

では、17ページをリノベーションという表現に戻してくださいとの発言。

委員

18ページの「環境 No.1 都市」が市民の行動目標になっているが、これはむしろ市の目標であり、位置づけとしてはエネルギーより上位の概念になるのではないかと質問。

副部会長

8(1)の行動目標、基本方針に入れたほうがよい。「環境 No.1 都市」は市民だけが目指すものではないとの発言。

嘱託員

6(1)にある「環境にやさしい住宅都市」はライフスタイルというよりもハード的なものなので、(2)におおしてもいいかと思うとの発言。

部会長

6(1)にむしろ「環境 No.1 都市」という言葉を入れたほうがよいとの発言。

委員

市民だけのイメージか、全体のイメージかご検討いただきたいとの発言。

部会長

8の冒頭だが、「環境 No.1 都市」を持ってくると「環境 No.1 都市に添った形でエネルギーを賢く利用して」になり、あまり長くするといけないのでそのままにしてください、6(1)の表題を変えたほうがいいかなと思う。表題が内容とずれていると思うので、ライフスタイルだけでなく、「コンパクトなまちづくりとライフスタイルの転換」に修正をお願いする。EMSの表記はどうかとの発言。

委員

「エネルギーマネジメントシステム」とカタカナにしてまとめればよいとの発言。

- 囑託員** あえて「家庭」や「集合住宅」、「公共施設」、「事業所」のエネルギーマネジメントシステムとする。言葉に引きずられないようにとの発言。
- 部会長** その次の段落もあえてCEMSと書かず、「地域エネルギーマネジメント」にすればよいとの発言。
- 委員** 既存事業の中に「環境市民養成講座」を入れてほしいとの発言。
- 事務局** 21ページに記入しますとの発言。
- 白岩氏** 20ページ、「スマートメーター（電力計測器）」という表現だが、一般的になじみのない言葉なので「スマートメーター」は取ったほうが良いとの発言。
- 囑託員** 「電力計測器」だけでは「スマートメーター」のことだと分からず、従来型の単なる「電力計測器」と思われる可能性があるのものでそのままのほうが良いとの発言。
- 部会長** 上の行とコロンでつなげればよいとの発言。
- 副部会長** 21ページの超小型EVだがどのようなものかとの質問。
- 事務局** 配送用などの小型の電気自動車であるとの発言。
- 部会長** EVという言葉がここで始めて出てくるのであれば、「超小型電気自動車」という表現のほうが良いとの発言。
- 委員** 22ページの「低炭素型ライフスタイルの提案」に「省エネ家電製品の買い替え」や「省エネ診断の推進」などの具体的な取り組みを入れてはどうかとの発言。
- 事務局** 「省エネ家電製品の買い替え」等は既存事業の中に入れてあるので、これからのスケジュールには入れていないとの発言。
- 部会長** 生駒市が重視しているのであればHEMSという言葉は残し、BEMS等の表現は別に考えよとの発言。
- 委員** 低炭素まちづくりのところで、調査・検討は2年間ぐらいにして、具体的な目標はキーワードで入れるものがあれば入れていただきたい。たとえばスマートコミュニティはどうかとの発言。
- 事務局** スマートコミュニティは新たな開発であり、低炭素なまちづくりは既存住宅を含めたものであるとの発言。
- 部会長** 本文のほうも修正しないとイケないかもしれないが、少し大きくりのグループで、スマートコミュニティと街区の風道を④にしてはどうかとの発言。
- 委員** ③の1)、2)は一つでとの発言。
- 部会長** 表と本文の整理をお願いします。最後に開催した部会の内容やメンバーの名前は入れるのかとの質問。
- 事務局** 本日は骨格だけであり、最初に市長のコメントも入れるとの発言。
- 部会長** ではメンバーの名前と開催した結果を入れるということで。CO2という表記を下つきの2にしておいてください。28ページの進行管理だが、各部局で効果の検証まで行かないのではないかと。難しいけど、ぜひ効果の検証をやるというようなことを入れ込んでいただきたいとの発言。
- 副部会長** 年度ごと、定量的な数値をよろしく願いますとの発言。
- 囑託員** LAS-Eとのからみはどうなのかとの質問。

副部長	環境基本計画も同じだが、L A S - E が庁内だけを見ているとの発言。
嘱託員	効果・検証の把握まではとの質問。
事務局	そこまでは行っていないとの発言。
部長	委員からの質問、意見を求める発言。
事務局	環境審議会及び議会からの修正依頼に対し、部長に修正を一任してよいか求める発言。
委員	了承との発言。
部長	策定部会の審議を終了する発言。 策定部会の閉会を宣告。

午前11時 閉会